

プレスリリース [令和3年5月28日]

(計2枚)

加賀市のマイナンバーカードを活用した スマートシティ推進の取組が 総務大臣表彰を受けます

国（総務省）及び情報通信月間推進協議会では、情報通信の普及・振興を図ることを目的に、毎年5月15日から6月15日の1か月間を「情報通信月間」とし、豊かな生活を実現する情報通信について広く国民の理解協力を求めていくこととしています。

加賀市では、先端技術の社会実装やデータの活用により、市民生活の質の向上や経済の発展を図る「スマートシティ加賀」の構築を目指しており、この取組におけるデータ連携のカギとなるマイナンバーカードの交付率は、令和3年5月1日時点で65.1%（総務省公表）と全国の区市においてトップの実績となっています。

今年度の「情報通信月間」において、マイナンバーカードを活用したデジタル行政サービスの実現など、マイナンバーカードを活用したスマートシティの推進の取組が、情報通信の発展に貢献したと認められ、令和3年6月1日に総務大臣表彰を受けます。

今年度の情報通信月間総務大臣表彰された団体は3件であり、北陸3県の自治体では25年ぶりの2件目の表彰です。

つきましては、ぜひ貴紙・貴番組にてご紹介いただきたく、下記の通りご案内申し上げます。

【情報通信月間における加賀市の表彰功績】

マイナンバーカードを用いた個人認証基盤等のデジタル自治体プラットフォームを整備し、各種データを一体的に活用した利便性の高い行政サービスの実現に取り組み、マイナンバーカードを活用したスマートシティの推進に多大な貢献をした。

本件へのお問合せ先
加賀市政策戦略部スマートシティ課 担当：寺岸、大幸 TEL 0761-72-7826

※1 情報通信月間推進協議会

- 情報通信の普及・振興を図る目的で設けられた、民間の情報通信関連諸団体から構成される組織。

※2 情報通信月間

- 昭和 60 年（1985 年）の情報通信の制度改革を機に、情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられたものであり、期間中、全国各地で情報通信に関する様々な行事を実施する中で、豊かな生活を実現する情報通信について広く国民の理解協力を求めていくこととしている。（総務省 HP より）
- 例年 6 月 1 日に開催される記念中央式典にて、総務大臣表彰も含めた表彰が行われているが、昨年度同様、今年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、式典中止が決まっている。
- 令和 3 年度の情報通信月間総務大臣表彰を受けたのは、個人 3 件、団体 3 件。このうち、地方自治体は加賀市と高松市のみ。
- 昭和 60 年（1985 年）に始まり、今年で 37 回目となる情報通信月間の大員表彰は、北陸 3 県の自治体では平成 8 年（1996 年）の金沢市に次いで 2 件目で、25 年ぶり。

※3 令和 2 年度総務省スマートシティ関連施策 加賀市採択案件

- 令和 2 年 6 月 デジタル活用支援員推進事業地域実証事業（スマホ教室の開催）
- 令和 2 年 8 月 データ利活用型スマートシティ推進事業（データ連携基盤の構築）

※4 デジタル自治体プラットフォーム事業

- 市民生活の QOL 向上のため、マイナンバーカードを活用した個人認証や電子署名付与を実現できるデジタル ID アプリ「xID（クロスアイディー）」を、様々なサービスに実装・活用検討している

※5 マイナンバーカード関連のスマートシティ推進の取組の一例

- 令和元年 12 月 xID 株式会社（旧 blockhive）との「次世代電子行政の実現に向けた連携協定」締結
 - 令和 2 年 8 月 12 日～ マイナンバーカードを活用した電子申請サービスの提供を開始（令和 3 年 4 月 1 日現在 139 申請が可能）
 - 令和 2 年 12 月 xID 株式会社、株式会社 LayerX との「市の政策に関する電子投票実現に向けた連携協定」締結
-